

2
(日)

世に遣わされた

ヨハネによる福音書一五章18〜27節

もしあなたがたが世から出た者であるなら、世はあなたがたを自分のものとして愛するだろう。だが、あなたがたは世から出た者ではない。私があるあなたがたを世から選び出した。(19)

主が弟子たちを選ばれたのは、福音を告げる使者として彼らを世に遣わすためでした。そこには一つの厳しさがありません。この世が主イエスを憎み、殺そうとしたように、主によって遣わされた者たちをも同じように憎むということです。主イエスがこの世のものでないように、弟子たちもこの世のものではないからです。その上でなお、主イエスはご自分を憎む世を愛され、その救いのためにご自身の命を献げられました。それゆえ主の弟子たちも、この世に憎まれながらもこの世を愛し、自らを献げて生きるのです。そのように弟子たちが一粒の麦となって己に死ぬとき、多くの実を結ぶことになります。主イエスによって選ばれた私たちも、この世に生きながらこの世のものではなく、その命はキリストのものであります。神からこの世に遣わされた者として、使命に生きる者たちでありたいものです。